

2022鈴鹿クラブマンレース Round 1 フォーミュラEnjoy鈴鹿ラウンド(鈴鹿・岡山シリーズ第1戦) 鈴鹿サーキット(5.807km) 2月27日(日)公式予選・決勝

後援:鈴鹿市、一般社団法人鈴鹿市観光協会

いよいよ2022年シリーズ開幕。同時にフォーミュラEnjoyの記念すべき20回目のシーズンのスタートでもある。

今シーズンからは従来の「Enjoy Cup」(ハンディキャップ制順位)にかわり、昨2021シーズンを起点とした各選手のベストグリッド(予選グリッド)、ベストリザルト(決勝順位)を称える「マイベスト賞」が設定された。

さらに、「鈴鹿産・鈴鹿発」のオリジナルパッケージのフォーミュラEnjoyへのご賛同から今回より鈴鹿市および一般社団法人鈴鹿市観光協会のご後援をいただき、「一生涯モータースポーツ」としてのステータスによりふさわしい環境が整った。

2月にしては穏やかな気候のもと、18台(エントリーは19台)が鈴鹿サーキットを舞台に緒戦に臨んだ。大会前日の2月26日(金)には、希望者を対象にGPSデータロガーをマシンに搭載、得られた走行データをもとにしたドライビングレクチャー(無料)が福山英朗アドバイザーによって行われた。

※シャシーはNF-02、タイヤはダンロップのワンメイク



鈴鹿サーキット新ロゴがお目見え



コースイン前も笑顔の多屋貞一選手



シーズン最初の専用走行に向けての整列



各選手の走りを2コーナースタンドから見守る福山英朗アドバイザー



福山英朗アドバイザーのレクチャーを受ける初参加の伊勢屋貴史選手



26日(土)走行終了後は、福山英朗アドバイザーを囲んでのディスカッション



【公式予選】 27日(日)9:45~10:05 天候:雨/晴れ 路面:ウェット/ドライ

公式予選開始とほぼ同時に雨粒がコースを濡らし、ウェット路面で戦いが開始された。雨脚の弱まりと同時にドライ路面へと変化する中での難しい状況となった。まずは#85大川文誠(カンジ・レーシングシミュレータージム)が55秒台で先手を打つ。しかし、路面の回復とともに3周終了あたりで40秒を切り、#19 永井秀和(NINNE RACING FE2 MYST)、#32 T.山口((CABC&YSTO GRID FE2)、#7 安田和弘(エバーガラスコート ブロック)、#75 前田公孝(K&G RACING TEAM PSD)らがしのぎを削る。ここに昨年から2連勝中の#70 山崎一平(レプリスポーツ エンジョイFE2)がじわじわと迫り、大川との一騎打ちで29秒台から28秒台へとステージアップ。最終的には2分27秒948で山崎が大川を1秒近く離して昨年最終戦から2戦連続のポールポジションを獲得した



ポールポジションを獲得した山崎



セカンドポジションの大川はマイスターズ勢トップ



3番手の#1 小嶋禎一(Freccia Rossa22)までが2分30秒を切った

グリッド表

1	70 山崎一平 レプリスポーツ/FE2 2:27.948	85 大川文誠 カンジ・レーシングシミュレータージム 2:28.937
2	1 小嶋禎一 Freccia Rossa22 2:28.107	19 永井秀和 NINNE RACING FE2 MYST 2:30.207
3	75 前田公孝 K&G RACING TEAM PSD 2:30.303	7 安田和弘 エバーガラスコート ブロック 2:30.567
4	31 亀塚 『池島741』システム/池島周平/カト 2:30.591	32 T.山口 CABC&YSTO GRID FE2 2:30.700
5	66 Ryuu Mao Ryuu Mao/Enjoy/FE2 2:31.032	21 二井靖之 ダブスタレーシング/WEBSTAR/FE2 2:34.241
6	56 森下吾郎 N/37/FE2 2:34.377	77 本多秀樹 K&G RACING 2:34.828
7	73 多摩真一 K&G/73/多摩真一/海藤R 2:34.954	55 伊勢屋貴史 貴成興業社/FE2 2:35.643
8	83 祝藤 隆 741/トニー/FE2 2:41.088	4 角谷 勇樹 レプリスポーツ/FE2 2:41.939
9	27 前田和希 K&G RACING/27/希 2:43.114	78 安江 達也 ESDK&G RACING 2:43.435

スタート予定時刻:15:40(8Laps or 25mins)

【マイベスト賞(ベストグリッド部門)受賞者】 ※敬称略

#75 前田 公孝 #21 二井 靖之
#56 森下 吾郎 #55 伊勢屋 貴史
#27 原田 マサル



【決勝】 27日(日) 15:40～(8周) 天候:晴れ 路面:ドライ

大川が抜群の好スタートを見せ、オープニングラップを終える。山崎、小嶋がぴたりとつけ、三つ巴の序盤戦が展開された。永井が単独の4番手、そのあとの5位争いは安田、#31 亀蔵(『池勇ファイトすずか、初亀岡部丸ラッキー』)、山口が激戦を展開している。

じわじわと大川を追い詰めた山崎は、4周目の2コーナーでインを突きトップ奪取に成功するとすぐさまスパートをかけ、その後は6周目にコースレコードを更新する快走で周回ごとに差を拡げながら独走状態に入った。

注目の5位争いは山口が5周目に亀蔵をかわして激戦に終止符を打った。

終わってみれば、山崎は2位の大川に6秒615の大差をつけ、昨年からの3連勝を飾った。2位の大川も3戦連続の「マイスターズ・カップ」制覇となった。



大川が奪首を決めたスタートシーン



山崎が大川のインを突いてトップに浮上



歓喜の3連勝 山崎

決勝 正式結果表

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Tire	Team/Car
1	70	M	1	山崎 一平	FE2	DL	レブリスポーツエンジヨIFE2
2	85	M	1	大川 文誠	FE2	DL	カンジ・レーシングシュミレータージム
3	1	M	2	小嶋 禎一	FE2	DL	Freccia Rossa22
4	19		2	永井 秀和	FE2	DL	NINNE RACING FE2 MYST
5	32		3	T.山口	FE2	DL	CABC&YSTO GRID FE2
6	31	M	3	亀蔵	FE2	DL	『池勇ファイトすずか、初亀岡部丸ラッキー』
7	66	M	4	Ryuu Mao	FE2	DL	Ryuu Mao Enjoy-レブリスポーツ
8	75	M	5	前田 公孝	FE2	DL	K&G RACING TEAM PSD
9	7		4	安田 知弘	FE2	DL	エバーカーストプロダク
10	56	M	6	森下 善郎	FE2	DL	トンカウロFE
11	77	M	7	本多 秀朗	FE2	DL	K&G RACING
12	73	M	8	多摩 貞一	FE2	DL	K&G カワエ 房伸生S青海豚R
13	27	M	9	原田 マサル	FE2	DL	K&G RACING ジェニス
14	21		5	二井 靖之	FE2	DL	ガリクモレーシング withカツサンド号
15	83	M	10	齋藤 隆	FE2	DL	ワグナーレーシング-レブリスポーツ
16	78		6	安江 達也	FE2	DL	ESDC K&G RACING
17	55		7	伊勢屋 貴史	FE2	DL	貴賀経営サポートFE2
18	4	M	11	角谷 昌信	FE2	DL	レブリスポーツFE2

Fastest Lap

M	2'26.617 (6 / 8)	142.584 km/h	70	山崎 一平 / レブリスポーツエンジヨIFE2
M	2'27.739 (6 / 8)	141.501 km/h	85	大川 文誠 / カンジ・レーシングシュミレータージム

Start Time :15:45'00 Finish Time :16:04'42

R : Course Record

2019/12/7 2'26.910

大崎 達也 / NF02

M=[マイスターズ・カップ]参加者

【マイベスト賞(ベストライト部門)受賞者】

※敬称略

- | | |
|------------|-----------|
| #1 小嶋 禎一 | #31 亀蔵 |
| #75 前田 公孝 | #77 本多 秀朗 |
| #27 原田 マサル | #21 二井 靖之 |
| #55 伊勢屋 貴史 | |



PHOTO GALLERY 1



今シーズン初の戦いを待つイーグルスポーツの3台



ドライバーズブリーフィングで行われた
福山英朗アドバイザーのレクチャー



福山英朗アドバイザー誘導のもと、
決勝のグリッドへ



福山英朗アドバイザーから
グリッド上の全選手へ激励



グッドレースを終えた上位3台がパークフェルメへ



メディア取材を受ける大川文誠選手



総合結果の表彰台
左から小嶋禎一、山崎一平、大川文誠の各選手



「マイスターズ・カップ」上位3名
左から小嶋禎一、大川文誠、亀蔵の3選手



今回から設定された「ラッキーナンバー賞」
選手同士が抽選でお互いに副賞を贈ります



優勝 山崎一平
(レプリスポーツエンジョイFE2)



2位 大川文誠
(カンジ・レーシングシミュレータージム) M 1位



3位 小嶋禎一
(Freccia Rossa22) M2位 BR賞



PHOTO GALLERY2



4位 永井秀和
(NINNE RACING FE2 MYST)



5位 T.山口
(CABC&YSTO GRID FE2)



6位 竜蔵
(『池勇ファイト』すずか、初岡岡部丸ラッキー) M3位 BR賞



7位 Ryuu Mao
(Ryuu Mao Enjoy・レプリスポーツ)



8位 前田公孝
(K&G RACING TEAM PSD) BG賞 BR賞



9位 安田和弘
(エバーガラスコート ブロック)



10位 森下吾郎
(トレンタクワトロFE) BG賞



11位 本多秀朗
(K&G RACING) BR賞



12位 多屋貞一
(K&G クマ工房 伸正S 青梅豚R)



13位 原田マサル
(K&G RACING ジャニス) BG賞 BR賞



14位 二井靖之
(グリル梵レーシングwith カツサンド号) BG賞



15位 齋藤隆
BR賞ワグナー・レプリスポーツ



16位 安江達也
(ESDC K&G RACING)



17位 伊勢屋貴史
(眞賞経営サポートFE2) BG賞 BR賞



18位 角谷昌道
(レプリスポーツFE2)

